

ヨソ者・ワカ者の視点で地域を活性化させたい！

地域の文化を継承したい

日本の食料やエネルギーの自給率が低いことを知り、「自分の暮らしを自分で作りたい」と思い、1年ほど移住先を探していました。その中でパートナーの故郷である高野口町嵯峨谷・竹尾地区と出会い、地域に残る炭づくり・狩猟・養蜂・木こり・季節の保存食などの生きる知恵に触れ、「かっこいい！」と思い、移住を決めました。

地域の人と接する中で「この知識も自分たちの代で終わってしまう」という言葉を聞き、地域の文化継承のために何かできればと思っていたところ、地域プロジェクトマネージャーの募集を見つけて応募しました。

楽しい！面白い！を地域の皆さんと共に

人口約700人の信太地区の活性化に関する活動全般を担当しています。着任から数カ月間は「地域を知る」ことをテーマに、地域の方の想いを聞いたり、活性化のタネ探しをしました。

昨年末からは「魅力アップ部会（地域の20～50歳代の集まり）」の話し合いで「信太地区の魅力再認識しよう！」ということになり、月に1回のイベントを始め、本年度からファミリーの移住者を呼び込むためのPRイベントも始めます。

魅力アップ部会は、地域で育った人、移住者、地域外の人など、年代や職業の違う人たちが集まっています。それぞれの立場や視点からの話がとっても面白いです。10年、20年後を見据えつつ、まずは地域の皆さんと「楽しい！面白い！」を共有できる取組みを続けよう意識しています。

地域の温かさが橋本市の魅力

橋本市の方言や話し方が好きです。「つれもていこら」や「よばれていぬわよ～」など、地域の皆さんと関わる中で少しずつ方言を覚えてきました。また、集落の中で年上年下関係なくあだ名で呼び合うことや、年上の人と話す時にあまり敬語を使わないことも最初は新鮮でしたが、今はその雰囲気が好きになりました。

「移住してきてくれてありがとう」と声をかけてくれる地域の皆さんのお人柄が大好きです。

地域内外の皆さんが集う拠点に

地域の人から知恵や技術を受け継ぎつつ、ヨソ者・ワカ者の視点で発展・発信したいと思います。

移住後、たくさんの友人が遊びに来て、山菜採り、薪割り、炭づくりなどを「やりたい！」と目を輝かせて参加してくれます。その中には魅力的な写真を撮ったり、動画を作ったり、何か自分も手伝いたいと言ってくれる人がたくさんいます。

これから3年後の自立を目指して、地域プロジェクトマネージャーとしての活動以外で地域外の方が信太地区の魅力に出会える拠点づくりを始めたいです。



かたおか まお
片岡 真央さん

Profile

業務内容

高野口町信太地区の活性化（橋本市 農林振興課で勤務）

任期

令和4年7月～令和7年3月

前住所

熊本県熊本市

好きなこと

季節や地域の食を楽しむこと。沢登り。

苦手なこと

寒さ（紀北地域の想像以上の寒さに心が折れそうでした…）

やってみたいこと

お遍路。現在住んでいる高野口町竹尾から高野山までも歩いてみたいです。

人と人との
つながりを
大切に

今回の特集を通して、3人の活動を紹介しました。3人は、それぞれの分野において地域の皆さんと一緒に精力的に活動してくれています。隊員たちは、知らない土地で、地域の慣習や普段の生活など、すべてが初めてで、ワクワクと不安が多い中活動しています。地域協力活動・プロジェクト推進において、一番大切なのは「人とのつながり」です。

上林さんは「裁ち寄り処2階」、英さんは「くにぎ広場」、片岡さんは「橋本市 農林振興課」で働いています。3人を見かけたら「広報見たよ！」でかまいませんので、気軽にお声掛けください。つながることから地域の新たな可能性が広がるかもしれません。

問い合わせ

- シティプロモーション課
☎ 33-6106
- 農林振興課
☎ 33-6113



片岡さんが独自で活動している自然と人が共生できる社会を目指す活動の様子。

私が「地域プロジェクトマネージャー」です。